

令和6年5月1日

創成科学研究科博士前期課程（工学系）入試における
「応用数学」の出題範囲について（お知らせ）

【応用数学の試験問題について】

応用数学及び数学の試験問題は、工学系数学統一試験（EMaT）に準じた形式とし、工学系数学統一試験（EMaT）の過去問題を利用します。

工学系数学統一試験については、同試験のホームページに過去の試験問題と解答・解説が掲載されていますので参照してください。

工学系数学統一試験ホームページ：<http://www.aemat.jp/exam/>

【応用数学出題範囲】

I. 必修分野：

- (1) 「微分積分」
- (2) 「線形代数」

II. 選択分野：

「常微分方程式」, 「確率・統計」から1分野を選択

【工学系数学統一試験の成績による評価を選択する場合】

本研究科博士前期課程（工学系）の一般選抜を志願する者で、工学系数学統一試験の成績による評価を選択する場合は、出願時に工学系数学統一試験の成績票及びそのコピーを提出してください。成績が有効となる試験は2022年度工学系数学統一試験、2023年度工学系数学統一試験です。